

1. 講義

- 合田幸広, 「食薬区分」, 星薬科大学 (2022.12.7)
- 坂本知昭, 「品質管理概論」, 医薬品医療機器の品質確保に関する研修コース講義 (2022.5.27)
- 石井明子, 「バイオ医薬品の研究開発とレギュラトリーサイエンス」, 高崎健康福祉大学薬学部 (2022.6.8)
- 柴田寛子, 「抗体医薬品の品質・安全性評価」, 立命館大学薬学部 免疫医薬品学講義 (2022.7.8)
- 石井明子, 「バイオ医薬品の品質安全性確保」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2022.7.22)
- 日向昌司, 「バイオ医薬品の製造と管理」, 明治薬科大学 (2022.12.15)
- 丸山卓郎, 「生薬の修治」, 漢方薬・生薬認定薬剤師研修講義 (2022.5.15)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「医薬品と乱用薬物 1. 乱用薬物について」, 千葉大学薬学部 on-demand (2022.5.18)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「医薬品と乱用薬物 2. 危険ドラッグはなぜ危険なのか」, 千葉大学薬学部 on-demand (2022.5.25)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「違法薬物による健康被害を防ぐための薬学」, 星薬科大学 on-demand (2022.6)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「カンナビノイドの化学的性質」, 厚生労働省厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会第2回大麻規制検討小委員会 (2022.6.29)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「医薬品と乱用薬物」, 東京大学薬学部 (2022.7.12)
- 伊藤美千穂, 「においては薬になりますか」, 京都大学 Executive Leadership Program (2022.8.2)
- 伊藤美千穂, 「伝統医療の国際化の動き」, 漢方薬生薬認定薬剤師講義 (2022.8.7)
- 伊藤美千穂, 「食薬区分制度の現状」, 国際生命科学研究機構食品リスク研究部会主催勉強会 (2022.9.21)
- 伊藤美千穂, 「漢方薬・生薬に関する最近の話題」, 京都薬科大学生涯教育センター2022年度漢方講座 (2022.10.16)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「医薬品と乱用薬物」, 横浜市立大学大学院生命医科学研究科特別講義 (2022.10.21)
- 伊藤美千穂, 「薬学・医薬品国際化の中の生薬・天然物医薬品」, 星薬科大学大学院講義 (2022.12.16)
- 内山奈穂子, 「【食薬区分, 機能性表示食品, 指定成分】食品等に関わる規制について」, 東京農工大学工学部生命工学科 (2023.1.18)
- 安田智, 「Quality and safety assessment of cell therapy products for regenerative medicine」, 名古屋市立大学大学院薬学研究科創薬生命科学特別講義 (2022.5.11)
- 佐藤陽治, 「再生・細胞医療に用いられる細胞の品質・安全性評価」, 大阪大学大学院薬学研究科レギュラトリーサイエンス特別講義 (2022.6.24)
- 佐藤陽治, 「医薬品等レギュラトリーサイエンス概論」, 東京大学大学院薬学系研究科医薬品評価科学特論 (2022.10.3)
- 佐藤陽治, 「再生・細胞医療に用いられる細胞加工製品 (再生医療等製品) の品質・安全性評価」, 横浜市立大学大学院生命医科学研究科生命医科学特別講義 (2022.11.11)
- 佐藤陽治, 「再生医療に用いられる細胞の品質と安全性の評価—先端医薬を患者に届けるための科学—」, 神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーションスクール再生医療特論 (2022.11.21)
- 吉田徳幸, 「核酸医薬品の開発動向と安全性確保に向けた取り組み」, 東京大学大学院薬学系研究科大学院講義基礎薬科学特論Ⅱ (2022.6.14)
- 井上貴雄, 「核酸医薬品の開発動向と品質・安全性評価」, 大阪大学大学院薬学研究科レギュラトリーサイエンス特別講義 (2022.7.8)
- 内田恵理子, 「遺伝子治療の臨床開発に関する規制と品質・安全性の確保」, 2022年度大阪大学薬学研究科新

PharmaTrain教育／PRPコース (2022.8.27)

鈴木孝昌,「診断薬をめぐる話題:COVID-19とがん遺伝子パネル」,横浜市立大学大学院特別講義 (2022.10.28)

内田恵理子,「遺伝子治療概論」,横浜市立大学大学院生命医科学特別講義 (2022.12.9)

山本栄一,「医療機器安全学」,大阪大学薬学部 (2022.7.29)

宮島敦子,「医療機器の生物学的安全性評価における動物実験代替法の開発」崇城大学 応用生命科学専攻 特別講義Ⅲ 先端医療・健康科学特論 (2022.8.30-31)

宮島敦子,「医療機器の生物学的安全性の評価方法について」東京医科歯科大学 医歯薬産業技術特論 (2022.10.25)

植松美幸,「臓器工学特論」,早稲田大学理工学術院 (2022.11.28, 12.19, 26)

坪子侑佑,「Bioengineering」,早稲田大学創造理工学部 英語学位プログラム Major in Mechanical Engineering (2023.1.27)

山本栄一,「個別化製剤概論」,医薬品分析技術と物性解析,昭和大学薬学部 (2023.2.18)

河上強志,「生活用品の化学物質とその安全性」,国立保健医療科学院令和四年度短期研修住まいと健康研修 (2022.6.13)

河上強志,「衛生化学Ⅰ 家庭用品の安全性に関する法規制等と実際の健康被害事例について」,名城大学薬学部 (2022.6.24)

酒井信夫,「厚生労働省の研究者の仕事 中学生のためのレギュラトリーサイエンス講座」,世田谷区立用賀中学校キャリア教育講演 (2022.11.30)

根本了,「食品に残留する農薬等の規制とその試験法について」(WEB),国立保健医療科学院令和4年度短期研修 食肉衛生検査研修 (2022.6.22)

鈴木美成,「衛生薬学特論」,北里大学薬学研究科 (2022.6.23)

堤智昭,「食品に含まれる有害物質に対する安全確保の取り組み」,大阪大学大学院薬学研究科 レギュラトリーサイエンス特別講義 (2022.8.5)

鈴木美成,「レギュラトリーサイエンス概論」,星薬科大学薬学部 (2022.11.02)

鈴木美成,「衛生薬学ⅡB」,千葉大学薬学部 (2022.12.20)

中村公亮,「微生物のバイオテクノロジー」,千葉県立保健医療大学 (2022.12.19)

堤智昭,「食品に含まれる有害物質に対する安全確保の取り組み ダイオキシン類,放射性物質の調査研究の紹介」,千葉大学薬学部 (2023.1.10)

中村公亮,「食品・医薬品開発工学」,東京農工大学 (2023.1.11)

根本了,「GC/MSの原理と食品の分析」,千葉県立保健医療大学 (2023.2.3)

山崎由貴,「大学卒業11年を経て思うこと」,星薬科大学 (2023.3.9)

杉本直樹,「添加物の規格Ⅲ」,一般財団法人日本食品添加物協会 令和4年度食品衛生管理者登録講習会 (2022.6.1~7.31, eラーニング)

佐藤恭子,「添加物の規格Ⅰ」,一般財団法人日本食品添加物協会 令和4年度食品衛生管理者登録講習会 (2022.6.1~7.31, eラーニング)

多田敦子,「添加物の規格Ⅱ」,一般財団法人日本食品添加物協会 令和4年度食品衛生管理者登録講習会 (2022.6.1~7.31, eラーニング)

多田敦子,「食をめぐる環境論:食品添加物と環境1」,お茶の水女子大学 (2022.6.24)

多田敦子,「食をめぐる環境論:食品添加物と環境2」,お茶の水女子大学 (2022.7.1)

多田敦子,「食品添加物分析法の今後の展望」,特別区職員専門研修所 令和4年専門研修 検査技術 (2022.10.28)

多田敦子,「食品加工学実習:食品添加物,実習 食品

添加物（増粘安定剤）を応用した食品加工（観賞用）」、千葉県立保健医療大学（2022.12.8）

多田敦子、「衛生薬学Ⅰ：栄養化学7 食品添加物」、千葉大学（2023.1.24）

久保田浩樹、「分析法概論Ⅰ」、一般財団法人日本食品添加物協会 令和4年度食品衛生管理者登録講習会（2022.6.1～7.31, eラーニング）

久保田浩樹、「食品加工学実習：食品添加物、実習 食品添加物（増粘安定剤）を応用した食品加工（観賞用）」、千葉県立保健医療大学（2022.12.8）

建部千絵、「分析法概論Ⅱ」、一般財団法人日本食品添加物協会 令和4年度食品衛生管理者登録講習会（2022.6.1～7.31, eラーニング）

西崎雄三、「食品添加物概論」、東洋大学（2022.10.8～2023.1.21）

西崎雄三、「レギュラトリーサイエンス 食品添加物の規制と実態」、東京農工大学（2022.10.13）

増本直子、「既存添加物の規格基準，分析法」，日本大学（2022.11.25）

六鹿元雄、「添加物の規格Ⅳ」、一般財団法人日本食品添加物協会 令和4年度食品衛生管理者登録講習会（2022.6.1～7.31, eラーニング）

六鹿元雄、「食品用器具・容器包装の規格の作成および試験，検査ならびに分析法等の研究」，岩手大学（2022.9.22）

阿部裕，「食品用器具・容器包装，洗浄剤，乳幼児用玩具の安全性・規格基準に関して」，摂南大学（2022.7.2）

阿部裕，「レギュラトリーサイエンス 食品用器具・容器包装および乳幼児用玩具」，東京農工大学（2022.10.20）

阿部裕，「食品添加物論 食品用器具・容器包装，乳幼児用玩具，洗浄剤」，日本大学（2022.12.23）

朝倉宏，「カンピロバクター食中毒の発生状況と低減に向けた課題」，国立保健医療科学院令和4年度食肉衛生検査研修（2022.6.24）

岡田由美子，「リステリアによる食品汚染と食中毒」，国立保健医療科学院令和4年度食肉衛生検査研修（2022.6.27）

上間匡，「豚E型肝炎」，国立保健医療科学院令和4年度食肉衛生検査研修（2022.6.29）

朝倉宏，「カンピロバクター食中毒の発生状況，分子疫学並びに制御策について」，国立保健医療科学院令和4年度食品衛生危機管理研修（2022.10.5）

上間匡，「ウイルス性食中毒」，国立保健医療科学院令和4年度食品衛生危機管理研修（2022.10.5）

大城直雅，「マリンバイオトキシンによる食中毒」，国立保健医療科学院令和4年度食品衛生危機管理研修（2022.10.7）

岡田由美子，「リステリアによる食中毒，食品汚染実態と規格基準について」，国立保健医療科学院令和4年度食品衛生危機管理研修（2022.10.14）

吉成知也，「公衆衛生学講義：栄養保健」，東京医科歯科大学（2022.6.24）

工藤由起子，「病原大腸菌による食中毒と食品の検査法について」，国立保健医療科学院・令和4年度短期研修 食品衛生危機管理研修（2022.10.13）

大西貴弘，「魚肉における原因不明食中毒の究明と対策」，国立保健医療科学院・令和4年度短期研修 食品衛生危機管理研修（2022.10.13）

渡辺麻衣子，「食品真菌の検査と制御」，国立保健医療科学院・令和4年度短期研修 食品衛生危機管理研修（2022.10.18）

新井沙倉，「細菌学講義：腸内細菌目」，東京大学（2022.12.2）

爲廣紀正，「食品安全にかかわる仕事・研究について学ぶ（2）」，麻布大学生命・環境科学部食品生命科学科 食品安全学Ⅱ（2022.6.22）

近藤一成，「きのこによる食中毒」国立保健医療科学院 食品衛生危機管理コース（2022.10.13）

畠山智香子, 「食の安全と薬学」, 東北大学薬学部 (2022.6.3)

畠山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価について」, コープ北陸事業連合食品安全コミュニケーター養成講座 (2022.7.19)

畠山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価について」, 甲府市食品安全コミュニケーター養成講座 (2022.8.31)

畠山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価について」, 徳島市食品安全コミュニケーター養成講座 (2022.9.30)

畠山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価」, 東京農業大学 (2022.10.13, 2022.10.14)

畠山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価について」, 国立保健医療科学院 (2022.10.18)

畠山智香子, 「リスクアナリシスによる食品の安全性確保」, 第53期食品保健指導士養成講習会 (2022.9.30)

畠山智香子, 「ほんとうの『食の安全』を考える」, 宮城大学食産業学部 (2022.12.5)

畠山智香子, 「ほんとうの『食の安全』を考える」, 消費者庁令和4年度地方公共団体等食品安全担当職員研修会 (2023.3.7)

渡邊敬浩, 「国際対応に必要な分析の基礎知識」, 厚生労働省2022年度食品安全行政の国際化研修 (2022.9.21)

渡邊敬浩, 「分析の目的と実行－サンプリング－」, 厚生労働省2022年度食品安全行政の国際化研修 (2022.9.26)

渡邊敬浩, 「分析の目的と実行－分析法への要求と分析結果の品質保証－(業務管理要領の改訂・測定の不確かさ)」, 厚生労働省2022年度食品安全行政の国際化研修 (2022.9.28)

窪田邦宏, 「安全情報部」, 令和4年度厚生労働省インターンシップ (2022.9.9)

窪田邦宏, 「食品安全情報と食品媒介感染症被害実態の推定」, 国立保健医療科学院令和4年度食品衛生危機管理研修 (2022.10.12)

登田美桜, 「Food safety risk analysis」, 北海道大学大学院農学研究院 (2022.7.4)

登田美桜, 「食品衛生学：自然毒による食中毒」, 千葉県立保健医療大学 (2022.11.29)

荒川憲昭, 「医薬品開発とバイオマーカー」, 東北大学薬学部 (2022.11.14)

青木良子, 「新興感染症 (COVID-19) に対する治療薬・ワクチン開発の現状と課題」, 東京大学薬学部衛生化学講義 (2022.5.27)

青木良子, 「新興感染症 (COVID-19) に対する治療薬・ワクチン開発の現状と課題」, 東北大学薬学部薬学科・感染症学講義 (2022.12.15)

齋藤嘉朗, 「医薬品の承認制度と市販後の安全対策」, 第一薬科大学 (2022.6.14)

齋藤嘉朗, 「国立研究機関におけるレギュラトリーサイエンス」, 慶応義塾大学薬学部 (2022.6.28)

齋藤嘉朗, 「ゲノム薬理学の最前線」, 北里大学大学院薬学研究科 (2022.10.18)

齋藤嘉朗, 「医薬品の製造販売後の安全性確保に関する行政施策と医療情報データベースを用いた研究」, 東北大学薬学部 (2022.12.12)

平林容子, 「化学物質など外来異物に対する生体応答学 (毒性学)」, 横浜市立大学医学部 特別講義 (2022.6.7)

高橋祐次, 「トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナー：「マイクロ／ナノマテリアル粒子による影響」粒子毒性学 基礎」, 第23回日本毒性学会生涯教育講習会オンデマンド動画配信 (2022.6.30-7.11)

栗形麻樹子, 「ヒトの時間生物学：頭・頸部の発生と先天異常」, 昭和大学医学部2学年講義 (2022.7.11)

栗形麻樹子, 「ヒトの時間生物学：心血管系」, 昭和大学医学部2学年講義 (2022.7.13)

大久保佑亮, 「発生生物学」, 横浜国立大学講義 (2022.7.27)

北嶋聡,「毒性学分野における獣医師の重要性と最先端毒性研究の紹介」,東京大学農学部獣医学専修 毒性学実習 特別講義 (2022.12.19)

横田理,「国民の健康と社会を衛るレギュラトリーサイエンス研究」,東京理科大学薬学部3学年講義 千葉(web) (2023.1.15)

横田理,「生殖細胞の発生・分化と化学物質毒性」,熊本大学大学院生命科学研究部大学院講義 熊本(web) (2023.2.3)

山崎大樹,「医薬品の心臓安全性評価法とヒトiPS心筋細胞の創薬応用」,北里大学薬学部 薬理・薬物学特論 (2022.5.25)

諫田泰成,「ヒトiPS細胞技術を活用した新たな薬理試験法の開発」,名古屋大学大学院創薬科学研究科第152回創薬科学セミナー (2022.6.17)

諫田泰成,「ヒトiPS細胞を用いたレギュラトリーサイエンス研究」,豊橋技術科学大学講義 (2022.10.21)

小川久美子,「環境中化学物質の安全性評価」,名古屋市立大学大学院医学研究科 毒性病理学特論 (2022.7.21)

豊田武士,「薬物代謝酵素誘導時の肝臓と甲状腺 (SDラット,誘発性変化)」,日本毒性病理学会 2022年度第2回病理組織研修Webinar (2022.10.2)

小川久美子,石井雄二,豊田武士,高須伸二,松下幸平,赤根弘敏,赤木純一,「レギュラトリーサイエンスにおける病理学の役割」,武庫川女子大学インターンシップ (2022.10.24~28)

小川久美子,「レギュラトリーサイエンスにおける病理学の役割」,名古屋市立大学大学院インターンシップ (2022.11.22)

杉山圭一,「ゲノム安全学—遺伝毒性学概論—」,大阪大学大学院薬学研究科レギュラトリーサイエンス特別講義 (2022.6.17)

杉山圭一,「ゲノム毒性からみた食品の安全性」,京都大学大学院農学研究科食品生物科学特論Ⅲ (2022.10.27~28)

津田雅貴,「生化学A」,広島大学理学部生物科学科 (2022.12.2~2023.2.3)

井上薫,「リスクアセスメント・リスクマネジメント」(オンデマンド動画配信),第26回日本毒性学会基礎教育講習会 (2022.4.25~認定トキシコロジスト試験前まで)

井上薫,「化学物質等安全性評価学<レギュラトリーサイエンス講座>」(録画ビデオ配信),大阪大学大学院薬学研究科 (2022.7.15)

小島肇,「化粧品安全性とその評価法」,東京理科大学オープンカレッジ (2022.9.10)

山田隆志,「ヒト健康影響に関連したQSARとリードアクロス」(WEB開催),令和4年度QSAR/リードアクロス講習会,独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター主催,環境省 大臣官房環境保健部後援 (2022.10.17)

2. 講演

合田幸広,「食薬区分と無承認無許可医薬品」,漢方薬・生薬研修会 (2022.4.24)

合田幸広,「多成分系,新規天然物医薬品への道」,千葉大学薬友会生涯セミナー(宮木高明記念講演会) (2022.7.9)

合田幸広,「日本薬局方に関する最近の話題」,JASIS 2022 (2022.9.8)

合田幸広,「薬学の基礎「品質保証」」,東京医薬品工業協会講演会 (2022.10.14)

合田幸広,「提言実行に向けたリソース面からの課題」,新興医療評価技術の適格性認定システムの構築とその課題,日本学術会議公開シンポジウム(日本学術会議薬学委員会・政治学委員会・基礎医学委員会・総合工学委員会・機械工学委員会・材料工学委員会・臨床医学委員会合同) (2022.11.21)

合田幸広,「レギュラトリーサイエンスの立場から」,日本学術会議地域共生社会における薬剤師職能分科会・薬学委員会/公益社団法人日本薬学会/日本医療薬学会公開シンポジウム「薬剤師のプロフェッショナルリズムを考える」 (2022.1.22)

合田幸広,「国立衛研で実施するレギュラトリーサイエンスと天然物医薬品」, 富山大学和漢医薬学総合研究所セミナー (2023.1.31)

合田幸広,「日本薬局方に関する最近の話題」, JASIS関西2023 (2023.2.2)

吉田寛幸,「後発医薬品の品質確保に向けた行政の取り組み」, 静岡県立大学第297回月例薬学セミナー (2022.4.25)

吉田寛幸,「ジェネリック医薬品品質情報検討会の活動内容について」, 日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 第16回学術大会 (2022.8.7)

吉田寛幸,「BCSに基づくバイオウエーバーの考え方について (ICH M9 ガイドライン)」, 関西医薬品協会 技術研究委員会 特別講演会 (2022.10.4)

吉田寛幸,「吸入剤開発の最近の動向と評価法の進展」, 立命館大学 創剤・製剤技術研究コンソーシアム2022年度第3回研究会 (2022.10.14)

吉田寛幸,「国立医薬品食品衛生研究所における医薬品の品質確保に向けた取り組み」, 第13回長崎大学薬学フォーラム (2022.12.01)

小出達夫,「錠剤中に含まれる共結晶の透過ラマンによる定量」, 医薬品共結晶のモニタリングおよび粒子設計ワークショップ2022年度第1回研究会 (2022.9.1)

坂本知昭,「ICH Q9 (R1):「品質リスクマネジメントに関するガイドライン」の改訂」, 第45回ICH即時報告会 (2022.7.7)

坂本知昭,「品質管理概論～逸脱調査アプローチの例～GMP適合性調査における隠蔽・捏造・改ざんへの対応について」, 大分県薬事研修会 (2022.9.29)

坂本知昭,「原薬連続生産のAMED班活動の概要」, レギュラトリーサイエンス エキスパート研修会 専門コース (第275回) 医薬品原薬の連続生産の現状と今後の展望 (2022.10.4)

坂本知昭,「非破壊・非接触分光センシング技術を用いた原薬フロー合成工程におけるPAT評価技術の開発」, AMED創薬基盤推進研究事業研究成果発表会 (2023.3.8)

阿部康弘,「新規参考情報「製剤に関連する添加剤の機能性関連特性について」(FRC: Functionality Related Characteristics)」, 東京医薬品工業協会 局方CMC研修講演会第十八改正日本薬局方第一追補について (2023.1.23)

阿部康弘,「新規参考情報「製剤に関連する添加剤の機能性関連特性について」(FRC: Functionality Related Characteristics)」, 関西医薬品協会 研修講演会第十八改正日本薬局方第一追補について (2023.1.23)

阿部康弘,「新規参考情報「製剤に関連する添加剤の機能性関連特性について」<G9-1-181>」, 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 第24回日本薬局方等に関する研修会 (2023.2.17)

柴田寛子,「ICH Q2 (R2)/Q14分析法開発/分析法バリデーション改定の進捗」, 第24回インターフェックスジャパン (2022.7.14)

石井明子,「バイオ医薬品の品質・有効性・安全性確保のためのレギュラトリーサイエンス研究 ～薬学教育への期待～」, 医療薬学フォーラム2022/第30回クリニカルファーマシーシンポジウム (2022.7.24)

柴田寛子,「プレフィルドシリンジ製剤に含まれる凝集体及び不溶性微粒子評価における課題」, プレフィルドシリンジセミナー2022東京 (2022.9.13)

柴田寛子,「バイオ医薬品の品質評価における超遠心分析の利用」, 生体分子相互作用解析フォーラム (2022.10.12)

石井明子,「バイオ医薬品・バイオシミラーの品質と規制」, レギュラトリーサイエンスエキスパート研修会2022年度バイオ医薬品等に関する品質関連研修講座 (2023.1.31)

石井明子,「先端的バイオ医薬品の最適な実用化促進のためのCMC分野における創薬基盤技術の高度化に関する研究」, 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2023.3.8)

柴田寛子,「バイオ医薬品製剤中の不溶性微粒子評価法」, 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2023.3.8)

原園景,「インタクト分析を利用したバイオ医薬品の品

質評価法」, 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2023.3.8)

日向昌司, 「LC/MSを用いた宿主細胞由来タンパク質の評価法」, 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2023.3.8)

橋井則貴, 「抗体薬物複合体の新規薬物分析法の開発と標準化」, 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2023.3.8)

伊藤美千穂, 「生薬・漢方製剤等の品質確保について」, 令和4年度医薬品医療機器の品質確保に関する研修 (2022.5.27)

内山奈穂子, 「 ^{31}P -quantitative-NMR (^{31}P -qNMR) を利用した有機リン化合物 (医薬品) の絶対純度の検討及び試薬の吸湿性について」, 第24回Japan Analytical Instruments Active users Network (JAIAN) ミーティング (2022.7.1)

伊藤美千穂, 「医療用漢方製剤の品質保証」, 医療薬学フォーラム／第30回クリニカルファーマシーシンポジウム (2022.7.24)

伊藤美千穂, 「天然物医薬品のレギュラトリーサイエンス」, 京都コモンズ第18回セミナー (2022.7.27)

Ito M, 「Overview of Japanese Pharmacopoeia and Approval Standards for Over-the Counter Kampo Medicines and Crude Drug Preparations」, PMDA-ATC Quality Control Webinar (2022.8.25)

丸山卓郎, 日本薬局方 (局方) 及び日本薬局方外生薬規格 (局外生規) について, 薬用植物産地化協議会, 令和4年度第一回勉強会 (2022.9.19)

Masada S, Ito M, 「Inter-laboratory precision test for the FHH Atlas project of Pinellia Tuber – HPLC analysis result from Japan-」, Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (FHH) Sub-Committee 2 Annual Meeting (2022.9.30)

伊藤美千穂, 「食薬区分に関する最近の動向について」, 表示・起源分析技術研究懇談会第27回講演会 (2022.10.14)

内山奈穂子, 「医薬品におけるニトロソアミン類の分析法－国立衛研の取り組み－」, 日本PDA製薬学会 技術教育委員会シンポジウム～医薬品開発におけるニトロソアミン不純物の管理～ (2022.10.14)

伊藤美千穂, 「生薬・天然物医薬品に関する最近の話題」, 日本生薬学会関西支部令和4年度秋期講演会 (2022.10.21)

丸山卓郎, 「日本薬局方外生薬規格2022について」, 薬用植物フォーラム2022 (2022.10.25)

伊藤美千穂, 「においは薬になりますか」, 第59回全国衛生化学技術協議会年会特別講演 (2022.10.31)

内山奈穂子, 「食薬区分の申請における照会様式の改正について」, 薬事部門研究会「食薬区分制度と申請について」, 第59回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.11.1)

伊藤美千穂, 「においは薬になりますか」, 東京都薬用植物園2022年度薬草収穫感謝の会 (2022.11.5)

花尻 (木倉) 瑠理, 「法規制薬物の最新の規制状況」, 生薬に関する懇談会特別講演 (2022.11.20)

Ito M, 「Prevention of adverse drug reactions/events for herbal medicines - Japanese case」, Workshop on adverse drug reactions/events for herbal medicines, WHO-IRCH (2022.11.23)

伊藤美千穂, 「いわゆる食薬区分について」, 第50回生薬分析シンポジウム (2022.11.25)

花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグなどの濫用薬物及び植物について」, 岐阜県中濃地区薬物乱用防止研修会特別講演 (2022.12.1)

伊藤美千穂, 「薬と植物の関わり」, 蘭越町薬用植物を軸とした地域活性化講演会 (2022.12.10)

伊藤美千穂, 「漢方薬・生薬等, 天然物医薬品の規格作成の実際」, JASIS関西日本薬局方セミナー (2023.2.2)

伊藤美千穂, 「日本の天然物医薬品の品質と規制科学研究について」, 国民の健康と医療を担う漢方の将来ビジョン研究会2022 (2023.2.20)

Uchiyama N, 「Regulatory application of qNMR for assay in Japanese Pharmacopoeia」, Webinar on Recent Advances in NMR Spectroscopy”, COMSTECH-NAPRECA (2023.2.20)

Ito M, 「Updates on regulation of herbal medicines in Japan」, The 20th Standing Committee Meeting of the Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (FHH) (2023.2.22)

Tsuge A, Yoshitomi T, Goto Y, Yamamoto K*, Maruyama T, Kawano N*, Yoshimatsu K*, Ito M, Masada S, 「Metabolomic analysis using LC-HRMS to search for characteristic constituent for quality control of Senega」, The 9th International Symposium of the Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (FHH) (2023.2.23)

* (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

Uchiyama N, Tokumoto H, 「A New Method to Visualize the Internal Morphology of Crude Drugs Using High-Resolution X-Ray Computed Tomography」, The 9th International Symposium of the Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (FHH) (2023.2.23)

Tanaka S, 「Online Supercritical Fluid Extraction/ Supercritical Fluid Chromatography (SFE/SFC)/ Q-TOFMS Based Metabolomic Analysis of *Citrus*-type Crude Drugs」, The 9th International Symposium of the Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (FHH) (2023.2.23)

伊藤美千穂, 「最近の生薬関連の話題から」, 大阪生薬協会第290回技術部会講演会 (2023.2.24)

内山奈穂子, 「ドラッグリポジショニングを念頭にした天然物医薬品の適用拡大の基盤整備研究」, AMED創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2023.3.8)

内山奈穂子, 「新技術での医薬品の試験法の品質向上を目指した高度・迅速評価法の検討」, AMED創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2023.3.8)

佐藤陽治, 「ICH Q5 A 「ヒト又は動物細胞株を用いて

製造されるバイオテクノロジー応用医薬品のウイルス安全性評価」の改訂作業について」, 第22回医薬品等ウイルス安全性シンポジウム (2022.6.20)

佐藤陽治, 「「安全性・有効性を確認する」とはどのようなことか?」, 患者・市民と考える再生医療 (第1回) (2022.7.16)

佐藤陽治, 「ヒト細胞加工製品のQbD製造における*in vitro*細胞特性評価」, JAACT2022 (2022.7.26)

佐藤陽治, 「ヒトiPS細胞加工製品の臨床応用のカギとなる品質・安全性評価法の開発」, 生体機能と創薬シンポジウム2022 静岡 (2022.8.25)

佐藤陽治, 「再生医療分野でのレギュラトリーサイエンス 細胞の品質と安全性の評価」, 第8回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2022.8.26)

佐藤陽治, 「「安全性・有効性を確認する」とはどのようなことか?」, 患者・市民と考える再生医療 (第2回) (2022.9.3)

佐藤陽治, 「細胞加工物の品質・安全性確保のための技術要件に関するミニマム・コンセンサス・パッケージ」, 令和3年度AMED再生・細胞医療・遺伝子治療研究開発交流会 (2021.9.8)

佐藤陽治, 「ヒト細胞加工製品の品質リスクマネジメントについて」, 東海再生医療研究会2022年度第1回研究会 (2022.9.15)

佐藤陽治, 「再生医療等製品(細胞加工製品)の品質・安全性確保のための科学」, 薬学振興会先端創薬科学講座セミナー2023 (2022.10.7)

佐藤陽治, 「細胞の不均一性の理解とそれを踏まえた細胞製造」, BioJapan2022 (2022.10.14)

佐藤陽治, 「細胞の「評価」と細胞加工製品の持続可能な供給」, サロンドRINK「評価」座談会 (2022.10.21)

Sato Y, 「The Regulatory Framework for Regenerative Medicine and Cell Therapy in Japan」, ISCT ANZ LRA Webinar - Requirements and regulatory strategies and best practices for cell therapy clinical trials in the APJ

regions (2022.12.1)

Sato Y, 「Regulatory Science Research for Evaluating Tumorigenicity and Genome Instability of iPSC-based Products in Non-clinical Safety and Quality Tests」, JSRM-ISCT Joint iPSC Committee Symposium 2022 (2022.12.3)

佐藤陽治, 「生物由来原料基準の運用における課題」, 第8回レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2022.12.8)

佐藤陽治, 「「生薬」と「薬学」の関係から考えると「細胞加工製品」と「再生医学」の関係はどの段階なのか?」, HVC KYOTO 2022ポストイベント② ウェルネスシンポジウム (2022.12.14)

Sato Y, 「What Should be Considered for the Appropriate Operation of the Unique Legislative System for the Development of Regenerative Medical Products?」, 7th DIA Cell and Gene Therapy Products Symposium in Japan. (2022.12.15)

佐藤陽治, 「再生医療等製品の条件及び期限付承認制度の課題」, 第7回再生医療産学官連携シンポジウム (2023.1.26)

佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療に用いられる細胞加工製品の品質の確保」, 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団2022年度バイオ医薬品等に関する品質関連研修講座 (2023.2.1)

佐藤陽治, 「再生医療等製品の市場価値を高めるために必要な基礎研究」, RINK FESTIVAL 2023 (2023.2.17)

安田智, 「品質・安全性評価の構築と実装:造腫瘍性アッセイを例に」, RINK FESTIVAL 2023 (2023.2.17)

井上貴雄, 「次世代モダリティの安全性確保に向けた取り組み」, 第9回イノベーション人材育成セミナー (2022.4.18)

井上貴雄, 「なぜ、いま核酸医薬なのか」, 第43回 Tonomachi Café (2022.7.15)

井上貴雄, 「次世代モダリティの 安全性確保に向けた取り組み」, 生体機能と創薬シンポジウム2022 (2022.8.25)

井上貴雄, 「核酸医薬の開発動向と安全性評価」, 第6回 JSSX-APDD合同ワークショップ (2022.9.2)

井上貴雄, 「mRNA医薬の規制整備に向けた取り組み」, 創剤フォーラム若手研究会 (2022.9.15)

井上貴雄, 「核酸医薬の安全性評価」, ARO協議会第9回学術集会 (2022.9.17)

Takenori Yamamoto, 「Two-Dimensional Droplet Digital PCR as a Tool for Titration and Integrity Evaluation of Recombinant Adeno-Associated Viral Vectors」, 16th WRIB(Workshop on Recent Issues in Bioanalysis) (2022.9.26)

井上貴雄, 「mRNA医薬の開発動向と規制整備に向けた取り組み」, 日経バイオテクプロフェッショナルセミナー (mRNA医薬, 次世代の創薬技術を展望する) (2022.9.27)

井上貴雄, 「新型コロナウイルス感染症診断用核酸増幅検査薬と予防用ワクチン」, 日本臨床検査専門学院第47期微生物学コース (2022.10.11)

山本武範, 「遺伝子治療用製品の規制動向」, BioJapan 2022 (2022.10.14)

Takenori Yamamoto, 「Validation of the effects of transport on COVID-19 mRNA vaccines」, The 12th Global Summit on Regulatory Science (2022.10.20)

井上貴雄, 「新型コロナウイルス感染症の予防と診断」, 東京医科歯科大学医歯薬産業技術セミナー (2022.11.8)

山本武範, 「mRNA医薬の分析手法に関する取り組み」, 第19回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム (2023.1.17) (病欠により発表は井上貴雄部長が代行)

内田恵理子, 「遺伝子治療用製品等の品質管理」, 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団2022年度バイオ医薬品等に関する品質関連研修講座 (2023.2.1)

井上貴雄, 「核酸・遺伝子医薬の品質・安全性確保に向けた規制科学研究」, 第1回TRSアカデミアコンソーシアムシンポジウム (第8回Translational and Regulatory Sciences Symposium) (2023.2.17)

山本武範, 「mRNA医薬の品質特性評価」, ニューモダリティ医薬のLC/MS分析フォーラム (2023.3.17)

加藤玲子, 「医療機器の刺激性試験における国内外の動向」, 動物実験代替法学会企画委員会主催講習会「新しい挑戦へ向かう代替法の現在—最新動向の理解—」(2022.8.25)

山本栄一, 「ニトロソアミンの定量分析における現状と課題」, 日本環境変異原ゲノム学会ICH M7/QSARワークショップ (2022.10.21)

野村祐介, 「脱細胞化組織を利用した医療機器の品質・安全性評価法に関する研究」, 第8回日本医療研究開発機構レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2022.12.8)

中岡竜介, 加藤玲子, 宮島敦子, 野村祐介, 山本栄一「レギュラトリーサイエンスに基づいた医療機器評価と国際標準化」, 第4回OUSフロンティアセミナー (2023.2.24)

坪子侑佑, 「流れの可視化技術による血管内治療機器の非臨床試験法開発」, 脳神経血管内治療に関する医工学連携研究会 (2023.3.15)

小林憲弘, 「水道水質検査の最新情報: 告示法・通知法の改正と今後の展望」, 水道水質分析ウェビナー2022 (2022.4.14)

五十嵐良明, 「香粧品の品質確保とレギュラトリーサイエンス」, 第47回日本香粧品学会 (2022)・会頭講演 (2022.6.10)

酒井信夫, 「質量分析法を用いた標準試験法の必要条件: レギュラトリーサイエンス研究に基づく信頼性と汎用性とサステナビリティ」, 第70回質量分析総合討論会 (2022.6.23)

大嶋直浩, 「室内空気中化学物質を対象とした標準的測定方法へのヘリウム代替ガスの適用」, 第59回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門 (2022.11.1)

酒井信夫, 「ヘリウムガス供給不足に対する国立衛研の対応」, 第59回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門 (2022.11.1)

小林憲弘, 「水道水質検査への水素・窒素キャリアーガスの適用」, 第59回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門 (2022.11.1)

田原麻衣子, 「家庭用品の規制に係る試験法へのヘリウム代替ガスの適用」, 第59回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門 (2022.11.1)

河上強志, 「ヘリウム代替ガス使用の利点と欠点の整理」, 第59回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門 (2022.11.1)

小林憲弘, 「水道水質検査におけるヘリウム代替キャリアーガスの使用に関する告示法の改正について」, 令和4年度飲料水検査技術研修会 (2023.2.22)

小林憲弘, 「有機フッ素化合物 (PFAS) の水道水質管理の現状とその分析法について」, 令和4年度一般社団法人日本環境化学会関西地区部会講演会 (2023.2.24)

堤智昭, 「食品に含まれるヒスタミンとその分析法について」, 地域保健総合推進事業に係わる地域専門家会議 (九州ブロック) (2022.11.25)

堤智昭, 「レギュラトリーサイエンスと食品中の有害物質のリスク管理」, 食品に関するリスクコミュニケーション公開セミナー (2022.12.2)

杉本直樹, 齋藤剛, 末松孝子, 「qNMRによる純度測定的一般要求事項に関するISO規格の概要」, 第4回日本定量NMR研究会年会 (2022.12.16)

多田敦子, 「食品添加物としての二酸化チタンの役割等について」, 第24回医薬品品質フォーラムシンポジウム (2023.2.22)

増本直子, 「相対モル感度を用いた定量法と最近の動向」, 第4回日本定量NMR研究会年会 (2022.12.16)

大城直雅, 「マリンバイオトキシンによる食中毒—特にシガテラについて—」, 衛生微生物技術協議会第42回研究会 (2022.6.30)

大城直雅, 「マリンバイオトキシンによる食中毒—特にシガテラに関する最近の話題と研究」, 第53回沖縄県衛生監視員研究発表会及び研修会 (2022.7.15)

佐々木貴正,「細菌性食中毒対策における衛生管理ポイント(畜産農場～加工施設)」, 食の安全と安心のフォーラム第23回『食品製造における微生物制御の現状と今後の展望』(2022.7.17)

大城直雅,「熱帯性魚類による食中毒シガテラ」, 食のコミュニケーション円卓会議定例会(2022.7.27)

佐々木貴正,「食鳥処理場および卵選別包装施設で問題となるカンピロバクターおよびサルモネラの制御」, 2022年度秋季全国鶏病技術研修会(2022.9.22)

大城直雅,「動物性自然毒を原因とする食中毒について」, 令和4年度地域保健総合推進事業地方衛生研究所東海北陸ブロック理化学部門専門家会議(2022.9.29)

大城直雅,「話題提供」, 令和4年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部自然毒部会研究発表会(2022.11.4)

朝倉宏,「カンピロバクターの汚染動態と遺伝性状に基づく制御に向けた研究」, 日本食品衛生学会第118回学術講演会(2022.11.10)

大城直雅,「マリンバイオトキシンによる食中毒」, 令和4年度食品衛生監視員・と畜食鳥検査員・狂犬病予防員研究発表会研修会(2023.2.20)

吉成知也,「食品中に混入するカビ毒の健康への影響と検査法について」, 第82回分析化学討論会・公開シンポジウム(2022.5.15)

工藤由起子,「新型コロナウイルス残存性への生活環境表面特性の影響と質量分析によるウイルス検出法の開発」, 日本質量分析学会第48回BMSコンファレンス(2022)食と健康・医療(2022.10.26)

工藤由起子,「腸炎ビブリオ食中毒のリスクマネジメント」, 第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会 特別企画: 食中毒制御の成功例から学ぶ対策と課題(2022.11.12)

工藤由起子,「新興食中毒細菌*Escherichia albertii*について」, 令和4年度厚生労働科学研究費助成事業 北海道・東北・新潟ブロック 腸管出血性大腸菌検査担当者研修会(2022.11.29)

正田卓司,「研究留学について」, 慶應義塾大学薬学部講

義(2022.4.12)

正田卓司,「原薬連続生産の進捗と現状の概要」, レギュラトリーサイエンスエキスパート研修会(2022.10.4)

出水庸介,「医薬品中のニトロソアミン類の低減化手法」, 令和4年度M7ワークショップ(2022.10.21)

出水庸介,「MOEを活用したPROTACの合理的設計」, MOEフォーラム2022(2022.10.14)

出水庸介,「合理的設計による高活性PROTACの開発」, 第95回日本生化学会大会シンポジウム「ユビキチン・プロテアソーム研究のニューフロンティア」(2022.11.10)

出水庸介,「中分子ペプチド医薬品の現状と展望」, 第23回製剤機械技術学会シンポジウム(2022.11.25)

Demizu, Y,「Development of potent PROTACs targeting hematopoietic prostaglandin D synthase via *in silico* design」, *The International Symposium in Tokyo, Ubiquitin New Frontier "from Neo-Biology to Targeted Protein Degradation"*(2022.12.3)

出水庸介,「日本薬局方試験法における有害試薬排除の検討」, 佐賀県製薬協会研修会(2023.2.3)

出水庸介,「中分子ペプチド医薬品の現状と展望」, 日本化学会第103春季年会2023イノベーション共創プログラム(CIP)セッション「バイオ医薬品の最前線を支えるスマートケミストリー」(2023.3.22)

蜂須賀暁子,「品中放射性物質による内部被ばく～安全から安心に繋げるために」, 令和4年度食と放射能に関する説明会(2022.8.9)

安達玲子,「基礎から学ぶ特定原材料表示～導入の背景から新しい表示法における取扱いまで～」, 日本食品衛生協会食品衛生研究所食物アレルギー検査実習(2022.9.9)

Kazunari Kondo,「MHLW's regulatory approach to genome-edited foods」, Global Biotechnology Regulators Meeting(2022.11.15)

Chie Taguchi,「Risk communication tools for genome-edited foods in Japan」, Global Biotechnology Regulators

Meeting (2022.11.16)

畠山智香子, 「厚生労働科学研究「食品の安全確保推進研究」応募のススメ」, 東北大学薬学部医薬品開発研究センターセミナー (2022.6.3)

畠山智香子, 「ほんとうの『食の安全』を考える」, 第58回埼玉県消費者大会 (2022.10.25)

畠山智香子, 「安全な食品ってなんだろう ～食の安全を守るしくみを考える」, 栃木県 食の安全に関するリスクコミュニケーション in 県庁 (2022.11.2)

畠山智香子, 「ほんとうの「食の安全」を考える～ゼロリスクという幻想～」, 毎日新聞食育セミナー (2022.11.5)

畠山智香子, 「海外の食品安全情報の収集と活用」, 日本輸入食品安全推進協会 (ASIF) 令和4年度第5回勉強会 (2023.3.15)

渡邊敬浩, 「食品検査に必要なサンプリング, 分析, そして品質保証－ISO/IEC 17025に基づく業務管理要領の改訂とその実行－」, 令和4年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2022.8.9)

渡邊敬浩, 「Codexからみた日本」, 第20回食品安全フォーラム (2022.12.09)

窪田邦宏, 「海外の食品安全情報の収集と提供」, 日本食品工業倶楽部 食品の品質保証懇話会 (2022.10.20)

登田美桜, 「自然毒食中毒に関する情報ネットワークについて」, 令和4年度地方衛生研究所全国協議会関東甲信静ブロック会議 (2022.8.26)

登田美桜, 「植物性自然毒に関する最近の話題」, 令和4年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部自然毒部会 (2022.11.4)

登田美桜, 「Codex規格と日本の基準－汚染物質の基準値について－」, 第20回食品安全フォーラム (2022.12.9)

佐井君江, 齋藤嘉朗, 「Scientific insights about ethnic factors」, PMDA-Asia Training Center Multi-Regional Clinical Trial Seminar 2023 (2023.1.16)

佐井君江, 「医薬品識別情報の国際規格 (ISO IDMP) の国内導入における課題と展望－リアルワールドデータ活用の時代における安全性確保等への活用に向けて－」, MT協議会総会 (2023.1.30)

齋藤嘉朗, 「4種の新規モダリティ医薬品を対象とする薬物動態評価のための生体試料中濃度等分析法の開発と標準化に関する研究: 目的と概要」, 日本医療研究開発機構 令和4年度 創薬基盤推進研究事業 公開シンポジウム (2023.3.8)

孫雨晨, 「核酸医薬品の新規薬物濃度分析法の開発と標準化」, 日本医療研究開発機構 令和4年度 創薬基盤推進研究事業 公開シンポジウム (2023.3.8)

齊藤公亮, 「中分子ペプチド医薬品の新規薬物濃度分析法の開発と標準化」, 日本医療研究開発機構 令和4年度 創薬基盤推進研究事業 公開シンポジウム (2023.3.8)

田中庸一, 「遺伝子治療用製品の新規薬物濃度分析法の開発と標準化」, 日本医療研究開発機構 令和4年度 創薬基盤推進研究事業 公開シンポジウム (2023.3.8)

平林容子, 「安全性評価の課題と展望」, 令和4年度国立医薬品食品衛生研究所シンポジウム (2022.8.9)

Hirabayashi Y, 「Initiatives for Safety Assessment of Nanomaterials at Center for Biological Safety and Research, National Institute of Health Sciences」, The 12th Global Summit on Regulatory Science (GSRS) 2022 (2022.10.19)

栗形麻樹子, 「生殖発生毒性試験結果の解釈」, 第2回妊娠と薬情報研究会学術集会 (2022.10.9)

佐藤薫, 「国研業務のご紹介－創薬支援技術研究からコロナウィルスワクチン行政まで」, HSC 研究会 (2022.10.28)

山崎大樹, 「IVIVEとヒト細胞資源の活用による安全性評価技術のヒト予測性向上」 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2023.3.8)

諫田泰成, 「パンデミックの不確実性と創薬」, 第35回自然科学研究機構シンポジウム (2023.3.12)

小川久美子, 西川秋佳, 「ICH S1B (R1): 医薬品のがん原性試験の改定」, 第45回ICH即時報告会 (2022.7.7)

小川久美子, 「安全性評価における病理組織標本のポテンシャル」, 令和4年度国立医薬品食品衛生研究所シンポジウム (2022.8.9)

小川久美子, 「<がん原性>ICH S1 ガイドライン改定の概要」, 安全性評価研究会 第30回夏の教育フォーラム (2022.9.8)

小川久美子, 「食の安全はどのように守られているのか」, 武庫川女子大学 食物栄養科学部開設記念シンポジウム (2023.2.9)

小川久美子, 「『OECDテストガイドライン』と『バイオアッセイ』」, 横浜国立大学 安全性評価技術Bhas42CTAの社会実装 (2023.2.17)

小川久美子, 「二酸化チタンの安全性評価の現状について」, 第24回医薬品品質フォーラムシンポジウム (2023.2.22)

小島肇, 「3D モデル一般論」, MMS研究会第80回定例会 (2022.6.17)

小島肇, 「*in vitro*発熱性物質試験の展望」, 第23回エンドトキシン試験法セミナー (2022.7.27)

増村健一, 「化学物質のリスク評価手法と課題」, 令和4年度国立医薬品食品衛生研究所シンポジウム (2022.8.10)

Shihori Tanabe, 「A Conceptual Framework for Adverse Outcome Pathway (AOP)」, International Workshop for Environmental Disease 2022 (2022.8.23)

Shihori Tanabe, 「State of Art in Science and Technology for Elucidating the Environmental Disease in Japan」, International Workshop for Environmental Disease 2022 (2022.8.24)

小島肇, 「代替法に関する国内外の状況について代替法全般の最新動向」, 日本動物実験代替法学会企画委員会主催講習会 (2022.8.25)

Takashi Yamada, 「Read-across case studies for repeated-dose toxicity of chemicals: Lessons learned from the OECD IATA case studies project」 (Parma-Online Hybrid), The 9th European Food Safety Authority (EFSA) Read-across Work Group Meeting (2022.9.28)

小島肇, 「OECDテストガイダンス作成の経験から見たツールガイダンス整備の課題」, 日本学術会議公開シンポジウム (2022.11.19)

山田隆志, 「ヒト健康影響に係る化学物質安全性データベースの開発および情報科学技術の導入によるリスク評価の迅速化へ向けた課題」 (WEB開催), 化学物質の安全管理に関するシンポジウム - Society 5.0実現に向けた化学物質管理に係るデータ利活用の推進 -, 化学物質の安全管理に関するシンポジウム実行委員会主催, 内閣府等共催 (2022.12.21)

小島肇, 「魚類・両生類の動物実験および動物実験代替法の活用」, とっとりバイオフィロンティア人材育成セミナー (2023.2.28)

小島肇, 「3R (Reduction, Replacement, Refinement) に関する我が国の課題, 取り組みについて」, 第38回GMPとバリデーションをめぐる諸問題に関するシンポジウム (2023.3.6)